著作権者保護への正しいご理解をお願いしております．

適切な引用をお願いいたします．また，他著からの転載の際は，原出版社，原著者の許諾が必要です．著作権を出版社が専有している場合もありますので，まず原出版社の許諾を得てください．

表　題（30字程度まで）

姓　名（FirstName LastName）／所属

# はじめに

本文について

本文は，平易な日本語にてお願いいたします．句読点は全角「，」「．」ですが、一括して変換するので，執筆時は全角であれば「，」「、」や「．」「。」のいずれでも構いません．図版の文字も，可能な限り日本語にしていただければと存じます．

文体は，「だ」「である」（常体）を使用してください．

図表について

図表は，1頁につき1点までを目安としてご執筆ください．図1，図2……（もしくは図2.1，図2.2……），表1，表2……（もしくは表2.1，表2.2……）としてください．また，必ずキャプションを付けてください．説明文などは図中に入れず，本文にて説明し，B5の1/4頁に収まるサイズにてご作成ください．表については，原則として画像での入稿はご遠慮ください．

パワーポイント，エクセル，イラストレータなどのアプリケーションで作成した電子データがある場合は，その元データを原稿とあわせてご提出ください（\*.jpg，\*.pdf，\*.eps，\*.pptx，\*.xlsxなど）．データは，印刷に耐えられるような解像度（300dpi以上）にしてください．どうしても提出できない場合は編集部にて個別に対応いたします．

# 見出し１（15字程度まで）

章見出しは，1.，2.……とします．ここでは，スタイル「見出し１」を使用しています．

## 見出し２（15字程度まで）

節見出しは，2.1，2.2……とします．ここでは，スタイル「見出し２」を使用しています．

### 見出し３（15字程度まで）

項見出しは，(1)，(2)……とします．ここでは，スタイル「見出し３」を使用しています．

# おわりに

参考文献は，例えば右肩に1つ1)，2つ1),2)，複数1)～3)，のようにしますが，編集部にて対応できますので，一貫した形式(投稿論文などの形式)であれば問題ありません．

# 参考文献

論文

1. 養賢太郎：「文献タイトル」, 日本機械学会論文集 (C編), 巻数, 号数 (2019) p.381．
2. T. Yoken and K. Oikawa：“Title of the Paper”, ASLE Tans., 巻数, 号数 (2019) pp.123-130．

書籍

1. 養賢太郎・養賢二郎：機械設計法, 養賢堂 (2019) 冒頭頁数．